

# パークタワー勾当台公園

Park Tower Koutoudai Kouen

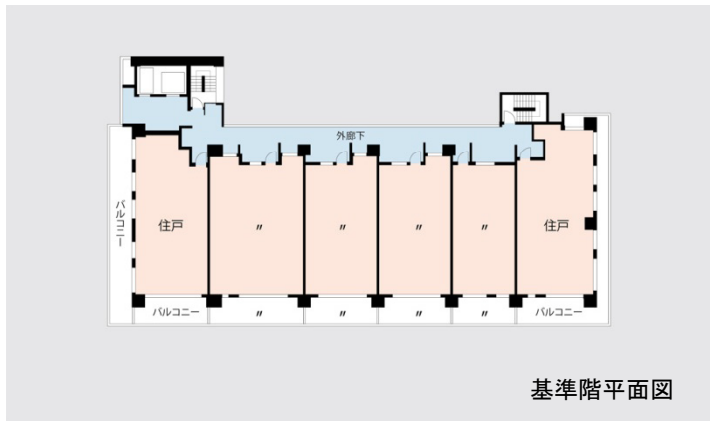
No. 06-010-2012作成  
新築  
集合住宅

|       |                  |       |  |  |  |  |
|-------|------------------|-------|--|--|--|--|
| 発注者   | 三井不動産レジデンシャル株式会社 | カテゴリー | A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB |  |  |  |
| 設計・監理 | 株式会社熊谷組一級建築士事務所  |       | E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携     |  |  |  |
| 施工    | 株式会社熊谷組 東北支店     |       | I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他                   |  |  |  |

## 杜の都 仙台市の中心部に建つ「環境共生型タワーマンション」



全体外観写真



基準階平面図

### 都心部の利便性と建築と自然の共生を図る

この敷地は、仙台市営地下鉄駅より徒歩3分、都心部の大規模公園である勾当台公園まで徒歩5分、官庁や商業地区も徒歩圏内にあり、仙台の四季を彩る風物詩や文化の発信基地でもあり、さらには広瀬川も身近という立地条件である。まさに利便・歴史・文化・自然を備えた杜の都の中心に住みながら、自然と一体になった都市型タワーマンションを目指しました。

建築設計に関しては、建築と自然の共存を目指した有機的デザインとして外装、外構、エントランスコート、インナーコリドー、ラウンジ、EVホール、共用廊下、各戸エントランスが統一した素材や色で統一されたデザインを目指し、従来型のクールなイメージではなく、人が暮らす温もりを大切にしました。

本建物では、地下鉄駅に近い北側にメインエントランス、官庁や商業施設に近い南側にサブエントランスを設け、人と車が双方にアクセス可能とし、建物を北側、東側に寄せる事で、南側に駐車場、西側にオーナーズガーデンを設置し、採光、通風を確保しながら全戸南向きの住棟レイアウトを実現しました。



断面概念イラスト



配置計画イラスト



プロムナード



エントランスホール

### 東北エリアの分譲マンションでは最大の環境配慮した免震マンション

#### 構造

本建物は、地震時の居住性向上、サッシ・扉の変形防止、配管の損傷防止、家具転倒防止に効果がある基礎免震構造を採用し、建設中に発生した東日本大震災の際にも被害が発生せず、その性能の高さを証明しました。

#### 建物配置

本建物では、建物周囲にオープンスペースを創出し、仙台の四季を表現する植栽を多く配置しました。外壁素材、配色は、町並みに調和したものを選定しました。

#### 共用部

屋上に太陽光発電設備を配置し共用部電源に供給しており、駐車場の一角に予約や課金が可能な電気自動車充電機を配置し、様々な再生可能エネルギーに対応しています。外構床には、保水性能をもった打ち水ブロックを使用し敷地排水の逆流防止に努めています。

#### 専有部

各戸は、高断熱（躯体、LOW-Eガラス）、節水機器、保温浴槽を採用して住宅エコポイントを取得し、エコキュートを採用した温水床暖房およびオール電化とLED照明を採用して省エネに努めました。また、各戸で電気の使用量を表示し、過去の使用量と比較検討が可能な省エネナビを設置し、居住者にも省エネ意識を向上させています。

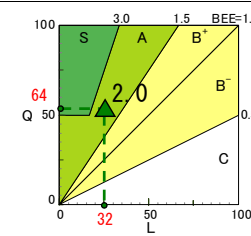
#### 設計 担当者

統括：飯田 宏／建築：伊藤泰志／構造：青木浩幸  
設備：東田豊三／電気：小林昌史

|       |         |
|-------|---------|
| 建物データ |         |
| 所在地   | 宮城県仙台市  |
| 竣工年   | 2012 年  |
| 敷地面積  | 2,430㎡  |
| 延床面積  | 11,490㎡ |
| 構造    | RC造     |
| 階数    | 地上20階   |

|          |     |
|----------|-----|
| 省エネルギー性能 |     |
| 品確法省エネ対策 | 等級4 |

|          |  |
|----------|--|
| CASBEE評価 |  |
| Aランク     |  |
| BEE=2.0  |  |
| 2008年度版  |  |
| 自己評価     |  |



#### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (免震構造、高強度コンクリート)
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (外構緑化)
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制 (高断熱、LOW-Eガラス)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (太陽光発電)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (LED照明、エコキュートを採用した温水床暖房、オール電化)
- Z. その他 (電気自動車充電機)